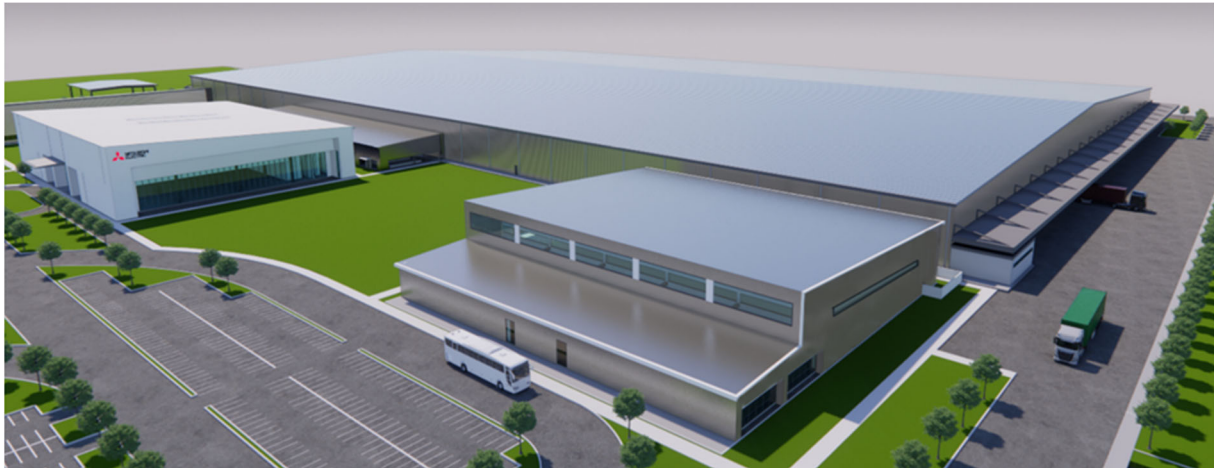


NEWS RELEASE

インドでルームエアコンと空調機器用圧縮機の工場を建設
空調冷熱システム事業のグローバル重点戦略である消費地生産を拡大



インドのルームエアコンと空調機器用圧縮機工場の完成予想図

三菱電機株式会社は、需要増加が見込まれるインドにおける空調冷熱システム事業の拡大に向け、インドの販売拠点である Mitsubishi Electric India Pvt. Ltd. (三菱電機インド、以下、MEI) に約 267 億円を投資し、ルームエアコンと空調機器用圧縮機の工場を建設します。

近年、空調冷熱システムのグローバル市場は、省エネ化・低 GWP 冷媒化による更新需要増加や、化石燃料からのエネルギーシフトを背景とする需要増加により、今後も拡大が見込まれています。このような市場環境を受け、当社は空調冷熱システム事業の成長戦略ビジョン Advance & Innovation 2025 (以下、AI25) を 2021 年 11 月に策定し、2025 年度の売上高 1 兆 2,600 億円、営業利益率 12% を目指しています。これに向けた重点戦略として、現地の市場ニーズに即した高性能・省エネ製品や自然冷媒などによる環境に配慮した製品開発と市場投入の加速、さらに製品の安定供給及びリードタイム短縮のため消費地生産の拡大に取り組んでいます。また、機器販売からアフターサービス、設備マネジメント提案、製品リサイクルまでを含めた循環型のライフサイクルソリューションを事業展開し、総合空調冷熱システムメーカーとして社会課題の解決に貢献しています。

当社は AI25 において、2025 年度までの 5 年間累計で約 1,800 億円の設備投資を計画しています。欧米での消費地生産拡大に加え、人口増加や経済成長により需要が拡大するインド市場への対応として、インド国内に新たな製造拠点を設立します。

インドにおける当社の空調冷熱システム事業は、2010 年に MEI を設立し、輸入販売を開始して以降、販路拡大を進め、高品質で高性能な製品を揃えるプレミアムブランドとしての市場地位を確立し、事業を拡大してきました。

今回、インド南部タミル・ナドゥ州に工場を建設し、ルームエアコンと空調機器用圧縮機の消費地生産を開始することで、今後の需要増加に対応した製品の安定供給を図ります。また、現地の顧客ニーズにもとづいた製品投入や、空調冷熱機器におけるライフサイクルソリューション、および当社が持つ総合力を生かした各種ソリューションを提供することで、インド市場でさらなる事業拡大を目指します。

工場の概要

所在地	インド共和国 タミル・ナドゥ州	
敷地面積	約 210,000m ²	
延床面積	約 88,000m ²	
生産能力	ルームエアコン	2025 年 10 月稼働予定 年間 30 万台生産予定(室外機ベース)
	空調機器用圧縮機	2025 年 12 月稼働予定 年間 65 万台生産予定
投資金額	約 267 億円(土地・建物・生産設備を含む)	
脱炭素化への取り組み	断熱強化や省エネルギー機器(LED 照明、空調機器、高効率ボイラー)の採用による CO ₂ 排出抑制	
SDGsへの取り組み	工場排水の再利用(地下浸透処理および緑化)	

MEI の概要

(2022 年 12 月末時点)

社名	Mitsubishi Electric India Pvt. Ltd.(三菱電機インド)
代表者	田村 一彦
所在地	インド共和国 ハリヤナ州グルグラム 3 rd Floor, Tower A, Global Gateway, MG Road, Gurugram – 122002, Haryana, India
出資比率	三菱電機アジア:58%、三菱電機:42%
資本金	約 70 億円
設立	2010 年 9 月 21 日
事業内容	FA 制御システム製品の開発・製造・販売・アフターサービス 空調機器、半導体、鉄道車両用電機品の販売・アフターサービス

お問い合わせ先

<報道関係からのお問い合わせ先>

三菱電機株式会社 コーポレートコミュニケーション本部 広報部
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号
TEL 03-3218-2332 FAX 03-3218-2431